

参加者募集

2026年秋季イベント

ケースメソッドで学ぶ孤立・孤独対策の実践Ⅱ：公開授業

「ケース：断らない相談支援 - チーム座間 -」

【日 時】2026年11月17日(火) 10:00 ~ 12:00

【形 式】Webセミナー(Zoomミーティング予定)

【参加費】無料

【定 員】討議参加者:約20名(先着順) 視聴者:約60名

※本イベントはケースメソッド形式のイベントとなります。実際の討議にご参加いただく
討議参加者と、視聴のみのご参加の視聴者のどちらかをお選びいただけます。

討議参加者

- 討議参加者は日本自殺総合対策学会会員に限ります。また原則先着順としうえて、参加者の所属や専門分野などの背景が、できるだけ多様になるよう、必要に応じて調整を行う予定です。
- 討議参加者全員による全体討議と、zoomブレイクアウトルーム機能を利用した少人数グループによるグループ討議(各3回を予定)に全てにご参加頂きます。
- 全体討議では討議参加者のビデオ画像(お顔)・お名前・発言等が当日の視聴者に共有される可能性があります。
- 討議に際しては、ディスカッションリーダー主導のもと、互いの多様性を尊重し、全員が安心して発言できるオープンな議論の場となるよう設定いたします。
- お申し込み時に、自己紹介に関する項目へのご回答をお願いいたします(一言で構いません)。討議参加が決定した方の回答内容は、自己紹介シートとして討議参加者間で共有する予定です。なお、視聴者の方には共有いたしません。
- ケースは事前にお送りしますが、当日にケースを読む時間を設けますので、予習は必須ではありません。
- グループ討議ではカメラとマイクを使用しますので、PCと安定した通信環境でのご参加をお勧めいたします。
- 討議参加者としてJST-RISTEX岡プロジェクト関係者が参加することがあります。

視聴者

- 視聴者は全体討議のみ視聴が可能となっており、グループ討議は視聴できません。グループ討議の間は、討議参加者と同じケースと問いをもとに、個人で考えていただく時間、およびディスカッションリーダーとの議論の時間とさせていただきます。

【申 込】peatixよりお申し込みください <https://peatix.com/event/5199373>

【締 切】討議参加者：2026年10月30日(金) 視聴者：2026年11月12日(木)

【プログラム概要】

「孤立・孤独対策におけるケースメソッドの実践 - ケース：断らない相談支援-チーム座間-」

孤立・孤独対策の現場では、制度や支援の枠組みだけでは割り切れない複雑な課題に対し、限られた情報と時間の中で判断し、関係者と対話しながら対応することが求められる。本イベントでは、こうした判断力・対話力を高める方法の一つとして、ケースメソッドを実践する。地域と行政が連携した「チーム座間」の断らない相談支援をもとにしたケースを用い、当事者や支援者の立場を疑似体験しながら、グループ討議と全体討議を行う。また、視聴者は、全体討議で示される異なる見立てや判断に触れ、自分ならどう考えるかを検討する。

ケースメソッドとは：ケースメソッドは、実際に起こった出来事を記述した教材（ケース）をもとに、参加者同士が討議しながら学ぶ教育手法です。講師が一方的に教えるのではなく、参加者が自分の考えを述べ、他者の視点に触れ、相互に発言し合うなかで、学びが深まっていきます。

● タイムスケジュール

司会・進行：新井崇弘氏（多摩大学経営情報学部 専任講師）

10:00 - 10:10 開会挨拶および趣旨説明

岡檀氏（情報・システム研究機構統計数理研究所特任教授、日本自殺総合対策学会理事）

10:10 - 11:50 ケースメソッド導入説明および全体討議・グループ討議（各3回予定）

コーディネーター：合同会社manabico（マナビコ）代表 鶴ヶ谷典俊氏

コメンテーター：林星一氏（座間市地域づくり部参事（連携担当）兼市民協働課長）

11:50 - 12:00 閉会挨拶

● イベント内容詳細（予定）

時 刻	参加内容		Zoom内
	討議参加者	視聴者	
10:00	開会・ご挨拶・全体のご案内・趣旨説明		メインルーム
10:10	導入（進め方の説明・本日の約束ごとについて）		メインルーム
10:15	個人予習 設問①	討議参加者と同じケースと設問①を用いて個人予習	討議参加者：ブレイクアウトルーム 視聴者：メインルーム
10:25	自己紹介（7分）→ そのままグループ討議①（12分）	メインルームで、鶴ヶ谷氏より全体討議の見方の案内（7分程度）、その後設問①について個人で考える（12分）	討議参加者：ブレイクアウトルーム 視聴者：メインルーム
10:44	全体討議①（視聴者は視聴のみ）		メインルーム
10:54	グループ討議② 設問②	メインルームで、鶴ヶ谷氏とのディスカッション①	討議参加者：ブレイクアウトルーム 視聴者：メインルーム
11:06	全体討議②（視聴者は視聴のみ）		メインルーム
11:16	グループ討議③ 設問③	メインルームで、鶴ヶ谷氏とのディスカッション②	討議参加者：ブレイクアウトルーム 視聴者：メインルーム
11:28	全体討議③（視聴者は視聴のみ）		メインルーム
11:38	林氏からのコメント		メインルーム
11:45 （11:48）	鶴ヶ谷氏によるラップアップ		メインルーム
11:50	閉会挨拶 事務連絡		メインルーム

ディスカッションリーダー：鶴ヶ谷 典俊氏（合同会社manabico 代表）

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了（MBA）。事業会社にて財務経理・事業部門を経験後、MBA課程でケースメソッド教育に触れ、その普及を志して合同会社manabicoに参加。2022年1月から2026年5月まで、慶應義塾大学ビジネス・スクール ケースメソッド授業法研究普及室の業務に従事し、ケースメソッド教授法セミナーの運営を担う。同室認定「ケースメソッド・インストラクター」。株式会社ワークシフト研究所 講師・研究員。ケース教材の開発（12本）、企業研修・セミナー講師、社内講師の育成などを手がける。

【その他】

- 本イベントはグループ討論を除き記録のために録画させていただきます。公開の予定はありません。
- Zoom接続情報、ケース及び関係資料については、後日お送りさせて頂く予定です。

【主 催】 情報・システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター

JST-RISTEX「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」の研究開発プロジェクト「行政・NPOの孤立・孤独対策現場知を支援する総合知に基づく学術体制構築」（研究代表者：岡檀）／日本自殺総合対策学会

【後 援】 厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター